



古中だより「坂道」

くめずす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和6年度 第37号

11月 1日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 大高 文雄

「三者相談」お世話になります

今週の月曜日から来週の木曜日まで7回に渡って「三者相談」が行われます。現在までのお子さんの学習・生活面の様子を中心に、学級担任と生徒、保護者の3者で話をします。保護者の皆様においては、多用中の所ではありますが、中身の濃い話合いになるようよろしくお願いいたします。

特に、3年生は受験校決定に向けた大事な話合いとなるので、ご家庭でもよくお子さんと話し合っておく必要があります。(過去には、面談中に親子喧嘩・・・なんてこともありました。)

「学校のC B T化対応試行調査」の実施

今週の月曜日に、1・2年生を対象に「学校のC B T化対応試行調査」を行いました。簡単に言うと、従来の「紙による問題用紙と解答用紙を用いたテスト」(P B T : Paper Based Testing)ではなく、タブレットを使ってテストを行う、というものです。(C B T : Computer Based Testing)問題はタブレットの画面出てきて、タブレット上で答えるというものです。(解答は記号で選んだり、計算で出た数字や簡単な文章は指定された回答欄に入力します。)将来的にC B Tによる学力テストに移行するための思考調査を1・2年生が行いました。

「C B TとP B Tのどちらのテストが良いか。」と、何人かの子ども達に聞いたところ、半々ぐらいに別れました。どちらにもメリットとデメリットがあります。一例をあげるとすると、下の場面になります。画面上の問題を読んで答えるわけですが、①画面上をタッチして答える。(とても楽で、メリットにあたります。)ところが、②思考を問う問題になると、ペーパー上に考え方を整理したり、暗算できない計算は紙の上でします。(これはデメリット。結局、紙の上で問題を解くことになります。)



【①】

【②】

他にもたくさんのメリットやデメリットがありますし、導入されて新たな成果や課題も出てくるかもしれません。今年度から県立高校においては、定期考査等の中で「自動採点システム」を導入し、テスト後のマル付けの負担軽減になったとの声を聞きます。(これはメリット)このように、定期テストや高校入試、各種調査がタブレット等で行われ、AIによる採点が行われる時代はそう遠くないのかもしれませんが、昔のマル付けには「おまけ」があったと思いますが、AIにそれができるのだろうか。「昔の方が良かった。」とは言いませんが、AIや機械に我々人間が判別されたり、評価されたりする世の中が来てしまったのかと、何か複雑な気持ちになってしまいます。

ソフト部「県ベスト8」



先週の土曜日は、ソフト部の新人戦県大会が相馬市で行われました。気合いを入れて乗り込んだのですが、相手チームが急きょ棄権することになり、不戦勝で1回戦を勝ち上がり、2回戦にコマを進めることになりました。予想外のハプニングが起こると、モチベーションを維持するのは難しいものです。強豪相手の2回戦は惜しくも敗れてしまいましたが、少人数の中、ここまでよく頑張りました。また、他にも嬉しかったのは、引退した3年生と保護者の方々が応援に来てくれたことです。「これって部活の良さだな。」と感ずることができました。

